

大ト協■ふれあいトラックフェスタ

東北3県の物産品販売



飲食や物販ブースを出展

開会式で、坂本会長が「必要なものを、必要な時に、必要なところへ届けられる」と語った。暮らしが良くなり、経済が必要なトラック輸送。経営環境は厳しいが、みんなの暮らしが良くなり、経済が

【大阪】大阪府トラック協会(坂本克己会長)は16日、吹田市の万博記念公園でトラックの日のイベント「ふれあいトラックフェスタ2010」を開いた。今年度は東日本大震災の被災地支援として、東北3県の物産品を販売する「一ナーナー」を設置。救援物資輸送の写真も展示し、来場者にトラック輸送の重要性を訴えた。

のがトラック輸送。経営環境は厳しいが、みんなの暮らしが良くなり、経済が

しっかりと発展できるよう頑張っていくので、業界に対する理解と協力を願いしたい」とあいさつ。

会場では、各支部の青年部組織と関連団体が飲食や物販ブースを出展。普段運んでいる衣料品、寝具に加え、東北3県の野菜や果物も販売された。救援物資輸送の様子を撮影した写真の展示コーナーは、多くの来場者の関心を集めていた。

トラックや白バイとの記念撮影コーナー、交通安全教室、大型CNG(圧縮天然ガス)トラックのPRコーナーも設置。特設ステージでは「海賊戦隊ゴーカイジャー」シヨーのほか、シンガー・ソングライターの森源太氏の復興支援ライブ

売り上げ一部を義援金に

も行われた。なお、イベントの売り上げの一部は東日本大震災の被災地に対する義援金に充てられる。

また、NPO法人(特定非営利活動法人)大阪ヘルスケアネットワーク普及推進機構(OCHHS、武田裕理事長)は専用ブースを

設け、薬の服用による眼気は事故につながるので、薬を購入する際には注意するようアピールしていた。

(水野正博)